

令和3年度 学校関係者評価委員会評価（前期）

- A委員 毎年、授業を参観させてもらっているが頑張っている生徒と授業している先生を見てすごいと感じている。
学校の行事が新聞の記事に取り上げられていて、その姿を見て、中学生も興味をもつのではないか。
地域行事の「種下ろし」でも協力をしていただき本当にありがとうございました。
- B委員 北高出身で、授業を参観させてもらったが生徒たちが頑張っていて、先生たちも一生懸命だということを感じた。
コロナ禍で地域行事が少ないのもあるが、中学生と比べて高校生が地域でどのような地域行事に参加しているのかが分かりにくい。
部活等での北高生の活躍しているのを見ると、もっと生徒数が増えてほしい。
- C委員 生徒たちを大切に育てていると感じた。赤木名中学校出身の生徒がよく遊びに来るが、高校生活が楽しいということを話してくれている。
授業を参観させてもらい、生徒に合った授業をしていて、子どもたちが伸びていると感じた。
- D委員 授業を参観して、タブレットを使った新しい取り組みをされているなということを感じた。このことを学力向上につなげてほしい。
- E委員 授業を参加させてもらい、生徒に細やかなところまで指導されていて、丁寧に授業をされているなと感じた。
アンケートの結果も「十分該当」、「概ね該当」の項目が増えているのは先生方の頑張りだと思うので、今後も継続してほしい。
- F委員 学習に関しては少人数に加えて、習熟度別に分けられたり、選択授業がバラエティであったりときめ細やかに行われていて、バリエーションの多い進学や就職に備えていると感じた。
アンケートの結果のまとめについては、十分できているところや重点に力を入れたいところをもう少し分かりやすく工夫すると見やすくなると思う。